

(質問)

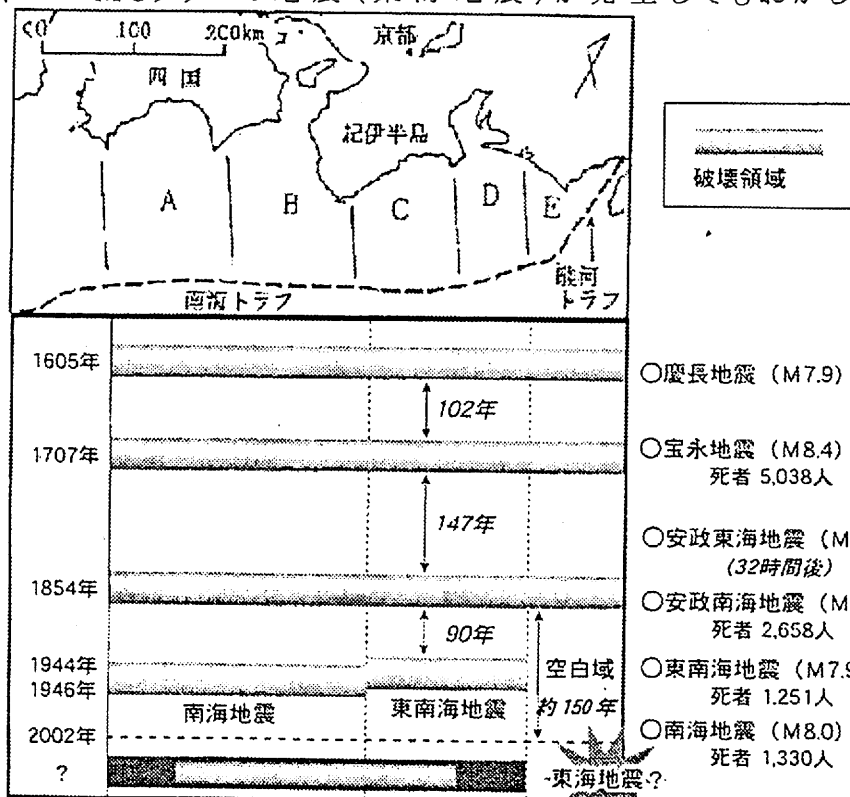
「東海地震」はなぜ起きるのですか。

(回答)

「東海地震」は、「近い将来、駿河湾とその南方沖合を震源として発生すると考えられているマグニチュード8程度の海溝型巨大地震」のことをいいます。

駿河トラフから南西に向かってつながっている南海トラフに沿った海域(フィリピン海プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいる海域(下図のAからEの領域)では、大規模な地震が100年～150年位の間隔で、繰り返し発生してきました。

下図は、その都度AからEまでの小領域のうち、どこが震源域となってきたかを示しています。東海地震の震源域はE領域に相当しますが、1944年、1946年と続いた東南海地震、南海地震では、E領域は破壊されずに残ってしまいました。したがって、エネルギーの解放がされなかったE領域では、約150年間震源域となっておらず、いつM8クラスの地震(東海地震)が発生してもおかしくないといわれています。



南海トラフ沿いの海溝型地震発生状況

(問い合わせ先)

連絡先	甲府地方気象台	山梨県総務部消防防災課
担当	防災業務課	防災対策担当
電話	055(222)9101	055(223)1432